

# 第1学年 算数科学習指導案

児童 1年2組 男子20名 女子19名 計39名

指導者 及川 純子

すこやかサポート 後藤 五月, 湯澤 卓

1 単元名 「たしざん」(くりあがりのあるたしざん) 11時間

## 2 単元について

### (1) 教材について

第1学年の目標は、「加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。」ことである。

本単元では、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを学習していく。

ここで扱う計算は、被加数、加数ともに1位数であるが、繰り上がることを「10といくつ」ととらえるところが要点となる。そこで、10に対する補数がつくりやすいように、被加数が9、8、7の場合から導入している。次に、被加数を分解して10の補数をつくり計算していく方法を学習していく。また、今までに学習した加法の意味理解を深め、繰り上がりのある計算になる場合にまで拡張していく。

### (2) 児童の実態

これまでに、「あわせていくつ」や「のこりはいくつ」の学習では、ブロックを使いながら、学習をすすめてきた。一つずつ動かすのではなく、10のケースを用いながら、まとめてブロックを動かして、数をおくように練習してきた。また、「10よりおおきかず」では、2本のブロックを使い10といくつをおかせたり、ブロック図に表したりすることにも触れさせてきた。多くの子どもたちが、素早くブロック操作ができるようになってきているが、まだ、一つずつ数えないと数をブロックでおけない子が数名いる。

算数の学習に対しては、好きと答える子が多く、進んで計算練習に取り組む子も多いが、10の補数を正確に出せず、ブロック操作に頼っている子が3～4名いる。

レディネステストの結果では、3分の2の子が $9 + 3$ の答えを出すことができていた。だが、既習の数の分解の問題でつまづく児童もみられたため、10までの数の構成と分解について、復習し直し、定着させていきたい。

### (3) 指導に当たって

10のまとまりを意識できるよう、初めの段階では、ブロックケースを使いながらブロック操作をさせていく。また、やり方になれてきたら数の分解図(さくらんぼ図)をかいたり、計算の方法を言葉で話したり、文に書いてみたりしながら、いろいろな方法で答えを出させていきたい。

練習の時間には、それぞれのスピードに応じて時間いっぱいに取り組んでいけるよう何種類かのプリントを工夫し、楽しく計算に取り組ませていきたい。また、早く終わった子には、発展問題にも取り組ませていきたい。

毎時、サポート教諭が入り、TT指導をすすめていく。一斉指導の場では、個別指導を要する児童の支援をし、練習の場面では、机間指導の役割分担をしながら、一人一人の子に目を向けていけるようにしていきたい。また、かあどれんしゅうの第4時では、習熟発展の時間としてサポート教諭が二人入り、いろいろな学習の場を設定し、「さんすうゲーム大かい」に楽しく取り組ませていきたい。

#### (4) 研究仮説との関わり

##### ア 選択学習(視点1)

練習の時間のプリントは、簡単なものから、少し難しいものへと内容を変えながら、終わった順にどんどん進めるようにしていく。

##### イ 指導と評価(視点3)

前時に難しいと感じていた児童や理解が不十分と思われる児童のようすをみながら、学習を進めていく。

### 3 単元の目標

#### (1) 単元の目標

1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解し、それをを用いることができる。

〔関心・意欲・態度〕 数の構成や10の補数などの学習経験を生かして、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを進んで考えようとする。

〔数学的な考え方〕 20までの数の構成や10の補数に着目して計算のしかたを考える。

〔表現・処理〕 1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算ができる。

〔知識・理解〕 1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを理解する。

### 4 単元の評価規準

|          | 概ね満足  |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 10の合成・分解の学習を生かして、1位数に1位数をたして繰り上がりのある計算のしかたを進んで考えようとしている。<br>加法を用いて身の回りの問題を解決するなど、加法を進んで用いようとしている。 |
| 数学的な考え方  | 繰り上がりのあるたし算のしかたについて、10のまとまりに着目して考えている。  |
| 表現・処理    | 繰り上がりのある1位数どうしの加法計算が正しくできる。   |
| 知識・理解    | 加数分解による計算のしかたを理解している。<br>被加数分解による計算のしかたを理解している。   |

5 指導計画（11時間）

| 小単元  | 時                     | 目 標  | 評価規準と支援  | 単元の評価規準との関連          |
|--|-----------------------|--|--|----------------------|
|  |                       |  | 概ね満足   |                      |
| 9 + 2<br>の<br>け<br>い<br>さん                                   | 1                     | ・ 1 位数どうしの繰り上がり<br>・ のある加法で、被加数を分解して計算する方法について理解する。  | ・ 繰り上がりのあるたし算のしかたについて、10のまとまりに着目して考えている。<br><br>・ 加数分解による計算のしかたを理解している。    | 考<br><br>知<br>表<br>知 |
|  | 3<br>4                | ・ 1 位数どうしの繰り上がり<br>・ のある加法で、加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。  | ・ 加数分解による計算が正しくできる。<br>・ 被加数が8, 7の場合でも、10のまとまりをつくればよいことを理解している。            |                      |
| 3 + 2<br>の<br>け<br>い<br>さん                                   | 1<br>2                | ・ 1 位数どうしの繰り上がり<br>・ のある加法で、被加数を分解して計算する方法について理解する。  | ・ 被加数分解のしかたを10のまとまりに着目して考えることができる。<br><br>・ 加数分解と被加数分解の方法を使い分けて計算することが分かる。 | 考<br><br>知           |
| か<br>あ<br>ど<br>れ<br>し<br>ゆ<br>う<br><br>本<br>時<br>4<br>/<br>5 | 1<br>2<br>3<br>4<br>5 | ・ たし算カードを使って、整理していく中で、くり上がりのあるたし算のきまりを見つける。<br>・ たし算カードを使ったゲームをする中でくり上がりのあるたし算の習熟を図る。<br>・ くり上がりのあるたし算の計算を適用し、文章問題を解く。<br>・ さんすうゲーム大かいをし、加法の計算能力を高める。<br>・ くり上がりのあるたし算のまとめをする。 | ・ 加法を用いて身の回りの問題を解決するなど、加法を進んで用いようとしている。<br>・ 繰り上がりのある1位数どうしの加法計算が正しくできる。   | 関<br>表               |

## 6 本時の指導（ 10 / 11 時間）

### （ 1 ） 目標

- ・加法の計算能力を高める。

### （ 2 ） 具体の評価規準

|                | 十分満足  | 概ね満足                                 | 努力を要する児童への支援                                |
|----------------|---|--------------------------------------|---|
| 関心<br>意欲<br>態度 | ・加法を進んで用い、<br>ゲームに参加しようとして<br>いる。           | ・加法を進んで用い、ゲーム<br>に参加しようとしている。        | ・問題数の少ないプリントを用意<br>し、楽しく取り組めるようにさせ<br>る。    |
| 表現<br>処理       | ・繰り上がりのある1<br>位数どうしの加法計算<br>が、速く正しくでき<br>る。 | ・繰り上がりのある1位数ど<br>うしの加法計算が正しくでき<br>る。 | ・計算のとちゅうでつまずく子に<br>は、ブロックで確かめながら、計算<br>させる。 |

### （ 3 ） 授業研究の視点

視点1 本時では、習熟発展の時間として複数のプリントを用意し、子どもが自分で問題を選びながら学習をすすめていく。

視点3 個別に支援を要する子のために、教師の支援を受けられるような場を設定する。

### （ 4 ） 展開

|                  | 学 習 活 動  | 支援・留意点（ ）と評価（ ）   |
|------------------|--|---|
| つ<br>か<br>む      | 1, 前時までの学習について振り返る。<br><br>2, 今日の学習の内容について知る。                                | 今日の学習で使えるように、繰り上がりのあるたし算の答えの出し方を言葉で説明させる。   |
| 5<br>分           | さんすうゲーム大かいをしよう   | 自分のめあてを確かめさせ、正しく計算できるよう意識させる。   |
| ふ<br>か<br>め<br>る | 3, 自分で選んで学習をしていく。<br>一斉に今までの学習内容を復習する。<br>終わった子から、自由に選びながら<br>次のプリントへと進んでいく。 | 今までの学習内容を確認できるような問題を準備し、繰り上がりのあるたしざんの計算方法について確認させる。   |
| 3 5<br>分         | ア なにができるかな?・・・計算問題を<br>解きながら色塗りをしていく。<br><br>イ はかせからのてがみ<br>・・・計算の結果から文を作る。  | どんな問題があるのかわかりやすく説明し、表示しておく。<br><br>自分ですすめる子は、まるつけをしながら、次の問題へとすすんでいかせる。<br><br>終わった児童を励まし、認めるためにプリントを確認し、シールをはる。 |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>ウ けいさんいっぱい・・・いろいろな計算問題を解く。(多いもの、少ないもの、発展問題)</p> <p>エ テストコーナー・・・いままでに学習した計算の方法を確かめたり、文章問題を解いたりする。</p> <p>せんせいといっしょ・・・ブロックを使って確認する。</p> <p>すごろく・・・すべての問題が終わった子は、計算を使ったすごろくに挑戦する。</p> | <p>前時までの習熟が十分でない子は、すすみ具合を観察し、支援をしていく。</p> <p>加法を進んで用い、ゲームに参加しようとしているか。</p> <p>繰り上がりのある1位数どうしの加法計算が正しくできているか。</p> |
| <p>ま<br/>と<br/>め<br/>る<br/>7<br/>分</p> | <p>4, 今日の学習を振り返る。</p> <p>「たしざん」の学習について振り返り、できるようになったことや、身近な生活の中で活用できそうな場を考える。</p>   | <p>今日の学習にすすんで参加していたか、正しく計算ができたかを振り返らせる。</p>  |

7 板書計画

さんすうゲーム  
たいかいをしよう。

- ・ただしこたえがでるまでがんばる。
- ・

ア  
みんなでふ  
くしゅう

イ  
なにがでて  
くるかな  
(いろぬり)

ウ  
はかせから  
のてがみ

エ  
けいさん  
いっぱい

オ  
テスト  
コーナー

・せんせい  
といっしょ  
・すごろく  
(おわった  
ひと)

1 - 2

レディネスの結果

| H . Y        | N . A        | K . S                | O . M | O . A                | K . K | T . K        |       |
|--------------|--------------|----------------------|-------|----------------------|-------|--------------|-------|
| 3つの数の立式      |              | 未習問題                 |       | ブロック<br>分解1問<br>未習問題 | 合成1問  | ブロック<br>未習問題 |       |
| K . Y        | K . T        | O . S                | T . M | A . A                | H . R | S . R        | T . S |
| 4 + 5        |              | ブロック<br>分解2問<br>未習問題 |       |                      |       |              |       |
| N . K        | S . A        | S . S                | T , A | T . H                | A . R | T . W        | K . A |
|              | ブロック<br>分解2問 | ブロック<br>合成1問<br>未習問題 |       |                      | 分解2問  |              |       |
| A . M        | Y . A        | S . I                | Z . M | I . T                | T . K | T . R        | T . J |
| 合成1問<br>分解1問 | ゆび<br>分解2問   |                      |       | 未習問題                 |       |              |       |
| H . D        | T . M        | H . D                | K . H | T . S                | I . M | G . Y        | K . M |
| 未習問題         | 分解1問         |                      | 合成1問  |                      |       | 未習問題         | 未習問題  |

...